

外部評価軽減要件確認票

| | |
|-------|------------|
| 事業所番号 | 2375700826 |
| 事業所名 | グループホーム 若宮 |

【重点項目への取組状況】

| 重点項目 ① | 事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） | 評価 <input type="radio"/> |
|-----------|--|-----------------------------|
| | ①町内会の回覧板で地域の行事の情報を知り、日常的にも地域の清掃活動やゴミ当番に利用者と一緒に参加している。また、中学生の職場体験の受け入れや、地域のボランティアの訪問もある。 | |
| 重点項目 ② | 運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） | 評価 <input type="radio"/> |
| | ①会議は、法人が運営している3ホーム合同での会議であり、行政関係者の出席も得られている。 ②それぞれのホームでの取り組み状況を報告するとともに、相互に情報交換を行うことで、ホーム運営に活かせるように努めている。 | |
| 重点項目 ③ | 市町村との連携（外部評価項目：4） | 評価 <input type="radio"/> |
| | ①事業者の連絡会に出席し、町担当者も交えて事例検討を行い定期的な情報交換としている。また、町で行われる福祉まつり等の行事に利用者と参加しており、情報交換の機会としている。 | |
| 重点項目 ④ | 運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） | 評価 <input type="radio"/> |
| | ①年1回、食事会として家族との交流の機会をつくる。 ②家族からの意見や要望は、ホーム管理者が把握に努め、内容によっては法人の事業責任者にも相談することで解決につなげている。 ③3か月ごとにホーム便りを発行し、利用者の様子を知らせている。 | |
| 重点項目 ⑤ | その他軽減措置要件 | 評価 <input type="radio"/> |
| | ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。 | |
| 総合評価 | | <input type="radio"/> |

【過去の軽減要件確認状況】

| 実施年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 |
|------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|------|------|
| 総合評価 | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | | |

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

| 外部評価項目 | 確 認 事 項 |
|-----------------------|---|
| 1. 事業所と地域とのつきあい | (例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。 |
| 2. 運営推進会議を活かした取り組み | (例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。 |
| 3. 市町村との連携 | (例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。 |
| 4. 運営に関する利用者、家族等意見の反映 | (例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。 |

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。